

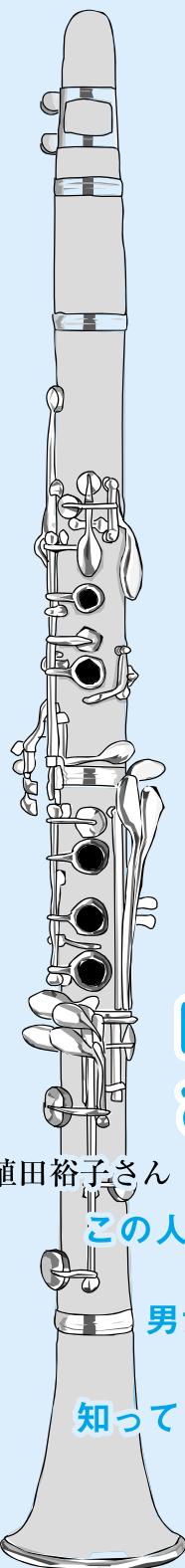
男女平等むさしの発・あなたの声でつくる情報誌

まなこ

企画・発行 武藏野市企画政策室市民活動センター男女共同参画担当

想いは声に出してみましょう。
まなこはそんな声を伝えていきたい。楽器の音が人の
心に届くように、今年の表紙は楽器です。

[Clarinets]



自分らしい働き方、
さがしてみようよ!!

植田裕子さん 山村ゆかりさん 秋沢和宏さん(まなこポスト)

この人に聞きたい!!『均等待遇アクション2003』

弁護士 中島通子さん

男女平等お国事情『ウィーンから武藏野へ』

野崎エリザベートさん

知っていますか?『商工会議所の資格支援講座』

レポーター取材体験記 小日向三重子さん

きらきらボランティア

大塚純子さん

この人に 聞く たい!!

「均等待遇

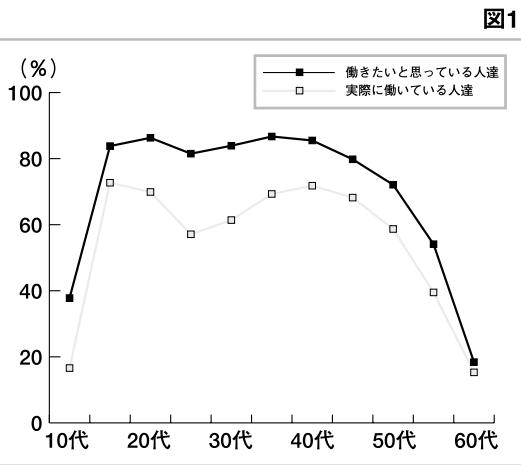
弁護士 中島通子さん

今、働く女性のうち^{*}パートなどの非正規労働者が約4割を占め、なお増加の傾向にあると言われている。

この実情を考え待遇改善を求める市民団体「均等待遇アクション2003」で活動中の弁護士・中島通子さんに現状を聞いた。

Q 女性達の働き方の現状について具体的に教えてください。

労働白書によると、依然として30歳代を中心としたM字曲線を描いています。つまり子育て中は退職して家に、子育て後に再就職（パート）という女性が多い。でもM字の谷底、家にいる女性達も実は働きたいと思っていて、潜在的には台形のカーブになっているのです。（図1）。なのに一度会社を辞めると正社員としての再雇用の門は狭く、低賃金で不安定なパート、アルバイト労働が現実なのです。



「じっとしていれば、何も解決しません」と中島さん。

Q ワークシェアリングについて、詳しく教えてください。

ワークシェアリングは、国によって考え方が違います。日本では緊急対応型と言って、一時に労働時間短縮などで賃金をカットし、失業者を増やさない対策なのです。でも本来の意味は新しい雇用を増やすことであって、人々の働き方や暮らしを変えることもあります。例えばオランダモデルと言われているワークシェアリングは、パートを増やさない対策なのです。

最近は新卒女性も正規採用されず、派遣労働で働く人が増えており、働く女性全体ではパートなどの非正規労働者が半数近くになっています。でもパートではステップアップにつながりにくく、キャリアを積んでも時給は変わらないのが現状です。女性パートタイム労働者の賃金と女性正社員の賃金格差は66.9%（平成12年）、今後、もっと広がる傾向が予想されますね。

Q では、このような不平等感をなくすためには？

M字形の谷底にいる女性達の夫の年代は、長時間労働で忙しく、家族の団らんもままならない状態です。男も女も楽しみながら子育てでき、キャリアを継続できる働き方がいいわけで、そこで考えられるのがワークシェアリングです。

オランダも、性別役割分業の意識の根付いた社会でしたが、このパート労働の促進などで不況から脱却しただけでなく、有償労働と家事・育児などの無報酬労働を男女の間で分け合うことが可能になりました。その結果、家庭生活が豊かになり女性のキャリアの中止も防げたのです。

夫婦どちらかが働く1+0=1が役割分担型、夫婦で0.75ずつ働いて1.5になる（0.75+0.75=1.5）というのがオランダ型の考えです。

Q これを日本にも導入するには？

パート労働法に均等待遇（時給の同一）と労働時間選択権を明記してゆくことでしょう。私達の団体「均等待遇アクション2003」は2003年までにこれらを実現するための行動をしています。

（取材 浜 俊子）

中島通子法律事務所
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-2-4
第10御苑宮庭マンション12B
TEL ▶ 03 (3359) 8019
FAX ▶ 03 (3359) 8090

参考図書の紹介（中島通子氏著作）

『賃金の男女差別は正をめざして』共著
岩波ブックレットNo.338 岩波書店
難解な問題が易しく書かれている。
中央図書館のY・Aコーナーに有。

『均等待遇とワークシェアリング』
均等待遇アクション2003事務局発行
TEL・FAX 042 (949) 5231

一人ひとりの働き方

植田裕子 46歳 吉祥寺南町

これから修学旅行です。

山村ゆかり 40歳 境

山村さんご夫婦。「その日の様子を聞く、そしてよかったですを心がけています」

私が家の一步、二歩

山村ゆかり 40歳 境

「私が仕事を始めて家族の生活が変わったみたい」と話す山村ゆかりさんは、2年前から自宅でビーズアクセサリー教室を開いている。アルバイト先で自作のビーズコーナーを持たせてもらったことがきっかけだ。

夫の一史さんは昨年勤めていた会社を退職し、現在アートセラピーを取り入れたスタジオの開業準備中である。企業に勤めていたときに産業カウンセラーの資格を取り、アートセラピーの興味があつたので「いずれは、カウン

男女ともに、生きがいを持つて働くことのむずかしい時代。
少しでも自分らしく働くために必要なことは？
その手がかりを聞かせてもらいました。

えてきた。現在は、都内の中学校に勤務している。

「代替教員の契約は、産休と育休を合わせてほぼ一年です。新しい職場に突然入り、その環境や子ども達にない状態です。男も女も楽しみながら子育ても素直になれるし元気がわいてきます。励まされることだってあるんですよ。今でも便りをくれる生徒がいるのもうれしいことですね」

そんな彼女が学生の頃から感じていたことがある。責任の大きい仕事を背負わされて、疲れきっている男性は多いのではないか。有能で働く意欲のある女性はたくさんいる。性別に関係なく仕事を分け合えば、男性も随分楽になれのに。この時代、夫婦・家族のあり方が多様化し、働く動機や姿勢も人それぞれ。地域性も大きい。

「だから、男性女性にとらわれない人間一人ひとりの働き方があると思います。仕事・家庭・自分、この三つを満たす理想の形に、少しでも近づければいいですね」

ちなみに植田さんは今年結婚された。今は都合により離れて暮らしている。お互いの仕事を尊重し合っていますかと尋ねてみた。

「尊重？まあお互いに心配しながら気づかっていますけどね」そう言って笑顔を見てくれた。（文 加藤和子）

く仕事を分け合えば、男性も随分楽になれのに。この時代、夫婦・家族のあり方が多様化し、働く動機や姿勢も人それぞれ。地域性も大きい。

「だから、男性女性にとらわれない人間一人ひとりの働き方があると思います。仕事・家庭・自分、この三つを満たす理想の形に、少しでも近づければいいですね」

ちなみに植田さんは今年結婚された。今は都合により離れて暮らしている。お互いの仕事を尊重し合っていますかと尋ねてみた。

「尊重？まあお互いに心配しながら気づかっていますけどね」そう言って笑顔を見てくれた。（文 加藤和子）

私の実家は小さな和菓子店を営んでいます。父が菓子を作り、母が店番をしながら家事をするという両親の役割分担は、結婚以来変わっています。現代のような男女平等教育を受けたとも思えないので、特に話し合って決めたわけではないようです。それぞれに無理なくできることを続けた結果、現在の形に落ち着いたのかもしれません。

パートナーとはお互いによく話し合ふことや、その順位を日々、再確認することだと思います。今の自分にとって最も大切なこと（仕事、趣味、恋人…）を確認しておけば、自然と生活のリズムも、その大切なことをを中心に回っていきます。

ただ、ある時は仕事だったり、ある時は恋人だったりと、いちばん大切なものは状況により変わるので、私は時々立ち止まつて見直すようにしています。

（投稿）

3

2

自分らしく、働いていますか？

アンケートにボランティア協力いただける方を募集中。
詳しくは企画政策室市民活動センター男女共同参画担当まで

男、女のワクにとらわれない、自分の理想とする働き方をさがしてみようよ！ 厳しい時代を乗りこえるヒントが、きっと見つかるはず…。

あなたにとって「理想の働き方」とは、どのようなカタチですか？

- ☆休む時は休み、働く時は働くメリハリのついた働き方。 女24歳 吉祥寺北町
☆主に自宅が就労場所の働き方。 女39歳 三鷹市
☆ワーカーズコレクティブ：メンバー全員が出資、経営、労働を担う協同組合形式の非常利団体。 女40歳 緑町
☆正社員として、定時内で働きたい。 女40代 緑町
☆家庭に支障がないよう良い条件で働きたいが、現実は無理。扶養控除の枠が外れると、いわゆる働き損になる。 女44歳 吉祥寺北町
☆男が外で収入を得るために働き、女が家庭で笑顔という時代はもう終わり。 女46歳 吉祥寺南町
☆いつでも夫に代わって、夫の給料分くらい稼げるよう常に社会とかかわっていきたい。夫も、妻と交替できるように家庭の仕事に携わっていてほしい。 女54歳 西久保
☆自分の能力を生かし、成長させ、社会活動に役立ちたい。 女70代 中町
★自分のやりたいことと社会で役に立つことが一致し、かつ仕事を楽しめること。 男27歳 関前
★仕事の中に趣味的要素が含まれ、しかも収入のバランスが図られていること。 男50代 吉祥寺南町
★一人ひとりが責任を持って仕事をし成果をあげれば、出勤時間や休日などを自由裁量で決めることができる働き方。 男56歳 緑町
★家庭生活や趣味、地域活動と両立できるゆとりのある働き方。 男70代 吉祥寺北町

『資格』についてこんな意見もありました。

- ★資格は、何かをするための手段。取得することを目的として取得した資格は、何の役にも立っていない。 男27歳 関前
☆取得した時点では、入口に過ぎない。プロとして通用させるためには、自分自身をステップアップさせる努力が必要。 女40代 中町
☆取得するために勉強することは、決して無駄ではない。興味があればどんどん挑戦すべきだ。 女40代 中町
☆年齢制限を超えるためには、専門分野の資格が必要では…。 女44歳 吉祥寺北町

男女平等

お国事情

野崎エリザベート 47歳 境南町

エリザベートさんはオーストリアの医学生だったが、イギリスで出会った野崎氏に嫁いで24年、金髪の美しい人だ。夫と英語でしか話せなかつた生活も、今は日本語で家族や友人と語り合うことができる。そこで、オーストリアと日本の家庭内の平等について印象を聞いてみた。

「ウイーンの家は父が医者で母は医療技師でしたので、妹が6歳ぐらいのとき母は父の手伝いを始めました。受付やレンタルゲンなどだつたと思います。私達は両親が隣の医院に居るので寂しくはなかつたです。父は母に月給を払い、母は保険に入り年金も掛けたそ�で、父が亡くなつた今も安定した暮らしです。

妻が夫の手伝いをするのは無給ではなく、経済的にも自立できるということなのです。私は長男に嫁ぎ、日本の家族と同居してちょっと驚きました。義母は義父と長男のための、専業主婦という無償のお手伝いのように見えたからです。でも男性が外で必死に働いて、女性は家で何から何まで一人で引き受け、経済のレベルを上げてきたのです。

今は私も子育て、家事、介護をしていますが時々はウイーンへ里帰りしてリフレッシュ。尽くすだけでは面白くないです！」

（文 浜俊子）



「夫とは高校生のときから何年も文通をしてました」

あなたは、今の自分の「働き方」をどう思いますか？

家事労働、地域活動

- ☆一人暮らしだが、家事労働は生活の基盤。自分の手でしていないと人間関係や仕事も心のないものになってしまいます。 女31歳 八幡町
☆会社のデスクワークより、家事や育児の方が体力が必要。 女39歳 都内
☆家事は手抜きしているが、地域活動は大切にしている。 女39歳 八王子市
☆働きながらの家事は大変だが、夫や子ども達が協力してくれる。地域活動をする心のゆとりはない。 女44歳 吉祥寺北町
☆独立して医院を営んできたので、家事との両立は上手にできた。今後は、地域活動を増やしていきたい。 女62歳 西久保
★週末に母の介護をしているので、余裕がない。 男56歳 緑町
★コミュニティーセンターを中心に、大いに活動している。 男50代 吉祥寺南町
- ☆パートの仕事の内容が限られていて、満足感が得られない。 女39歳 国分寺市
☆派遣社員として働いている。制服に着替える時間も勤務時間に入れねばならない。 女39歳 三鷹市
☆売上げを伸ばせと言われて一生懸命働いても、店長の給料が上がるのみ。パートやアルバイトには何のメリットもない。 女47歳 境南町

社内など、職場での働き方

- ☆アルバイトとして、曜日や時間を自分で選ぶシフト制で働いている。女24歳 吉祥寺北町
☆子どもの帰宅時間に合わせて帰れるなど、労働条件は恵まれていると思う。 女39歳 緑町
☆パートの仕事の内容が限られていて、満足感が得られない。 女39歳 国分寺市
☆派遣社員として働いている。制服に着替える時間も勤務時間に入れねばならない。 女39歳 三鷹市
☆売上げを伸ばせと言われて一生懸命働いても、店長の給料が上がるのみ。パートやアルバイトには何のメリットもない。 女47歳 境南町

「働く」ことに役立てるため、起業や地域活動に生かすため『資格』を取得する人が増えています。
現在、取得したい、または興味のある資格があれば教えてください。

図書館司書 司法書士 マンション管理士
ホームヘルパー1、2級 ケアマネージャー
システムアドミニストレータ パソコン検定 ファイナンシャルプランナー
確定拠出年金アドバイザー 産業カウンセラー TOEIC
リフレクソロジー テープリライター

共働くコツ

レポーター 栗原恵子

51歳 吉祥寺南町（談）



市の幼稚園を退職して2年。現在は東京女子大の「近代日本文学講座」を聴講したり、長年続いているヨガや七宝焼など、外での活動に忙しくしています。

家族は夫とふたり。

夫は日曜にお好み焼きや焼きそばを作ったりしてくれます。家事は家族みんなの責任。だから手伝つてもらうという意識はなく、強制もしませんでしたが、最近ふと、夫の家事手順が私とそっくりなことに気がつきました。女性には「自分のやり方」がありますよね。家族がそのとおりにできなくても、怒らず、やり直さず、強要せずに、自然に分担するコツなのかも知れません。

最近はトラック運転手などいろいろな形で働く女性がいます。職場で男女が同じ時間働いても、家事は女性に偏るのが現実。どのような環境の家庭でも、夫は日々お好み焼きや焼きそばを作ったりしてくれます。家事は家族みんなの責任。だから手伝つてもういう意識はなく、強制もしませんでしたが、最近ふと、夫の家事手順が私とそっくりなことに気がつきました。女性には「自分のやり方」がありますよね。家族がそのとおりにできなくても、怒らず、やり直さず、強要せずに、自然に分担するコツなのかも知れません。

ただ、家族も社会も、お互い寄りかかり過ぎない関係を保つことは大事ですね。

（文 新井利恵子）

私は日本文化を学び、この春大学院を修了。現在就職活動中です。4人

家族ですが、両親は仕事の都合で東京を離れて

いる時間が長いため、家事全般は私が進んでやっています。青空の下、洗濯物が気持ち良さげには

忙しい姉に比べ、家にためくのを見ているのは

楽しいし、防犯面からみても「男が家を守る」ことは効果的だと思っています。

反面、就職活動は大変です。正社員としてマスコミ

系企業を希望していますが、就職協定がなくなつて、さらに厳しくなつたように感じます。大学4年の四月に内定されたなどという話には、疑問に思うものもあります。

そして、まだまだ残る学問重視の風潮…。

とは言え、これが直面する現実。夢はライターになれること。馬が好きなので、競馬をはじめとするスポーツライターになるよう、パソコンや書く技術を磨いて頑張ろうと思います。只今、家事能力も向上中！

（文 新井利恵子）

私は日本文化を学び、この春大学院を修了。現在就職活動中です。4人

家族ですが、両親は仕事の都合で東京を離れて

いる時間が長いため、家事全般は私が進んでやっています。青空の下、洗濯物が気持ち良さげには

忙しい姉に比べ、家にためくのを見ているのは

楽しいし、防犯面からみても「男が家を守る」ことは効果的だと思っています。

反面、就職活動は大変です。正社員としてマスコミ

系企業を希望していますが、就職協定がなくなつて、さらに厳しくなつたように感じます。大学4年の四月に内定されたなどという話には、疑問に思うものもあります。

そして、まだまだ残る学問重視の風潮…。

とは言え、これが直面する現実。夢はライターになれること。馬が好きなので、競馬をはじめとするスポーツライターになるよう、パソコンや書く技術を磨いて頑張ろうと思います。只今、家事能力も向上中！

知つていますか？

商工会議所の

「資格支援講座」

職場でもっとキャリアを積みたい、就職や起業、地域の活動に役立たい。資格の取得を目指す人は増えているけれど、どこに行つて勉強したらいいのか迷っている人も多いのでは…。

昨年6月にリニューアルオープンした武藏野商工会議所では、資格取得のための支援講座が開かれている。早速、レポーターの小日向三重子さんと訪ねてみた。

多くの人がここに来て交流し、地域の情報交換をし合う。それを通じて結果的に地域の経済発展につながることを願っています。

◆商工会議所ってどんなところですか？

経済産業省の認可法人で、地域に根付いた経済団体です。

市内の商工業者のための事業・社会福祉の増進を目的として、地域社会を支援できるような組織作りをしています。



取材風景。右から、玉田さん、飯島さん、小日向さん。

◆どのような資格取得のための支援講座があるのですか？

○初級システムアドミニストレータ

コンピューターを利用する部門の立場から、O A化の推進や改善を促進するためのリーダー的

7月に開講（詳しくは☞で）

○簿記

現金の収支や商品の売買、債券・債務などを記帳し、企業の経営成績・財政状態を明らかにするための技術。

○販売士

各種小売店で販売に携わる人の総称で小売業従事者の資質の向上を目指す。

○ビジネス実務法務

ビジネス社会で必要な法律知識の習得。

○カラーコーディネーター

色彩を演出して色彩の魅力を引き出す。

○福祉住環境コーディネーター

高齢者や障害者に対する住みやすい住環境を提案するアドバイザー。

◆パソコンセミナーもあるそうですね。

一日3回（午前・午後・夜間）、基本から応用まで幅広いコースがあります。

最低実施人数は4名です。

◆今後の計画は？

11月に「創業塾」を開く予定です。

お店や事務所を開きたい、趣味や特技を生かして事業を始めたいという人達が対象です。開業の心得、事業計画などを実習方式で学んでいきます。

◆受講料金や参加資格は？

料金は、基本的に民間の低いレベルに合わせています。どの講座も男女、年齢は問いません。市外の方も参加できます。

企画政策室 市民活動センター 男女共同参画担当

（取材 加藤和子）

武藏野商工会議所
〒180-0004 武藏野市吉祥寺本町1-10-7
TEL ▶ 0422 (22) 3631
FAX ▶ 0422 (22) 3632
URL ▶ <http://www.city.musashino.tokyo.jp/>

きらきら ボランティア

心に「効く」歌の響き

大塚純子さん 64歳（桜堤）

「数年ぶりに歌を口ずさむ方がいます。『荒城の月』で泣き出した

方も」大塚純子さんの音楽ボランティア歴は

長い。音楽大学卒業後

に講師のかたわら、ピアノ教室や老人

クラブの指導をして地域と接してきた。

関前の高齢者施設・武藏野館での活動

は3年目になる。

この日は約30人が参加。車椅子の女性も多い。体をほぐす手指体操から歌に入る前に、一人ひとりの目線に立つて笑顔であいさつする。「人生経験豊かな高齢者を敬う気持ちで、全員の名前を覚えて呼びかけます」

毎週、手拍子や楽器を使う。皆が鈴や手作りマラカスをてんで鳴らしても、大塚さんがピアノでメロディを補うと、楽団のように一つに調和する。音楽を聴いたら演奏に参加すると脳が適度に刺激され、心身機能が高まる効果もあるという。車椅子でうとうとしていた人も職員にマイクを支えられて歌い、曲間の話やクイズに表情が和む。話題作りに見せる季節の花や風景の写真。そのための資料は次第に増え、ノート4冊にもなつた。

大塚さんは以前、音楽療法の指導法を学んだ経験がある。だが理詰めのカリキュラムになじめず、高齢者に合わせ音域を下げ、手指体操をスロー

テ字が大きく読みやすい。



（取材 藤井美里）



▲「私達も毎週火曜の活動が楽しみ」と
榎本真理さん、大塚さん、関屋いつ子さん（左から）

むさしのヒューマン・ネットワークセンターでは

■今回のテーマ「働く」に関する本を、ネットワークセンターの蔵書の中から情報部の小境範子さんと福澤雅子さんが紹介してくれました。貸出しも行っていますのでご利用ください。

「**「仕事」というライフライン**」 結城美恵子著 ユック舎（財）流通経済研究所、国立女性教育会館などを経て、自らの会社を設立した著者。「仕事」とは自分の生き方をプロデュースし、「自分を生きる」ためのライフラインと言ふ彼女の生き方は常にポジティブ。働き方への具体的なアドバイスと、仕事も子育ても「自分がハッピーになるため」と言い切る明るいさは、働く女性、働きたい女性を応援してくれる一冊。

「**地獄の在宅ワーク**」 福田久美子著 きんのくわがた社 子どもがいても家で仕事ができる「在宅ワーク」。ただし、「納期厳守」「安定した仕上げ」は絶対条件。「できませんでした」は許されません。仕事と家事の割り切りがきっちりできるか、その仕事が好きか、よく見極めてからスタートを。さもないとそこには「地獄」が…。

「**働くこと 育てるこ**」 写真と文 落合由利子 草土文化社 小学校教師、航空管制官、助産婦、農業、ダンプ運転手、獣医師……。16人の働く母親・父親とその子どもたち。それぞれの選択と生きることへたくましく向き合う姿勢が、多くの写真によって臨場感とともに伝わってくる。子育ても大事、でも、自分の生き方も大切と言ふ著者に共感できるのでは。

■むさしのヒューマン・ネットワークセンターの詳しい情報はホームページで閲覧できます。

市民活動センター 男女共同参画担当では

■平成14年度市民活動センター男女共同参画担当の予算は16,446,000円です。内訳は、

- 女性行動計画推進市民会議の設置1,536,000円
女性行動計画の推進と女性施策検討のための市民会議。
- むさしのヒューマン・ネットワークセンターの管理運営費5,556,000円
女性問題に関する市民・団体の自主活動・情報交換・ネットワーク化などを促進。管理・運営委託料、光熱・電話・回線通信費、複写・印刷機借上料など。
- 女性関係施策事業9,354,000円
講演・講座実施。「まなこ」「女性問題に関する意識調査」実施。「武藏野女性史」編纂。女性団体活動補助金など。

■女性関係行政推進会議が開かれました。
平成14年6月3日市長を議長に女性施策関連の部課長が出席。女性関係行政事業の昨年度実績と今年度予定が報告されました。

■平成14年度 市の新規採用者は22人です。
男女比は一般事務職で男性8人女性5人。保育士は女性3名。保健士は女性3名。栄養士、女性1名。一般技術職、男性2名です。環境生活部戸籍住民課、福祉保健部介護保険課、保育園などへ配属されました。

■武藏野女性史編纂委員会中間報告「聞き書き集武藏野に生きる女性たち」が完成しました。市内各施設の資料コーナー等においてあります。

どうぞ、お手にとってご覧ください。
4月より、係の名称・問合せ先が変更となりました。

企画政策室 市民活動センター 男女共同参画担当
TEL ▶ 0422 (60) 1869
URL ▶ <http://www.city.musashino.tokyo.jp/>



武藏野市境2-10-27
武藏境市市政センター2階

TEL・FAX ▶ 0422 (37) 3410
E-mail ▶ m_hnet@parkcity.ne.jp

URL ▶ http://www.clipcraft.com/m_hnc/

平成14年度レポーター紹介

平成14年度「まなこ」レポーターを紹介します。（五十音順）
今年度の年間テーマは「分担する・シェア」。47号では、働く場面での分担する形を考えます。

● 植田裕子（46歳・吉祥寺南町）
グウグウ、ダラダラ生きていくたいのに、ガシガシ、ギュウギュウ暮らしています。それでも声高に人を責めるのはイヤです。言い切る、強い調子、そういう声が通るのもイヤですね。

● 糸井 守（59歳・吉祥寺南町）
社会構造の大変革期の中で、男女共同参画は協働・協創体制を構築し、新たな秩序形成をしていく必要がある。そのために種々の分析・提案による交流促進へのインターフェース機能を担えればと思っています。

● 桑原照子（81歳・西久保）
若い人の新しい考え方を参考に生活しております。基本的に男女は同権です。お互いに理解し尊敬し合って、この時代お互いに理解し合って、この時代

4月19日市役所第801会議室

レポーター会議風景



4月19日市役所第801会議室

● 秋沢和宏（27歳・閑前）
20代が多いNGOでボランティアをしています。古い体質の会社と異なり、完全に男女平等でフラットな組織です。そこで一緒に活動する学生、会社員、主婦など、さまざま20代の生の声を中心に伝えたいと思います。

● 池見美貴子（24歳・吉祥寺北町）
女性は家事で男は仕事と役割分担を考えている男性は少なくなったようですが、逆に「主夫になりたい」と言われたとき、女性はすぐに受け入れられるのでしょうか？女性の意識改革も必要になつてきてると思います。

● 横井美香（61歳・西久保）
毎回、アンケートに協力してくれる方

を新しく探し女性の力強い暮らしぶりや「まなこ」について話し合うのが楽しみです。あまり力りません、女性も男性も大人も子どもも楽しく暮らせるようになることを願っています。

● 粟原恵子（51歳・吉祥寺南町）
「女性問題は実は男性問題である」という言葉がある。男性の意識改革なしには、女性問題は解決のしようがないということである。

仕事の中に埋没している男性をどうすれば変身させられるかが問われている。

● 菊地一郎（75歳・吉祥寺北町）
「女性問題は実は男性問題である」という言葉がある。男性の意識改革なしには、女性問題は解決のしようがないといふことである。

仕事の中に埋没している男性をどうすれば変身させられるかが問われている。

● 水上絵子（61歳・八幡町）
アンケートの回答を見ると、各年代の方や男性からのいろいろな意見があり、独りよがりの自分の考えが広げられるような気がします。小冊子ですが、テーマ、記事など、より精選された内容作りに協力したいです。

● 渡邊大輔（26歳・吉祥寺北町）
今の日本は、どのジャンルにおいても偏った考えがまかりとおつていてるような気がする。「まなこ」は幅広い世代の考え方をお互いが理解し合える情報誌であつてほしい。そのお役に立てばと思います。

staff

レポーター

秋沢和宏・池見美貴子
糸井 守・植田裕子
大口 浩美・長梶 岸
大尾花子・菊地一郎
栗原恵子・小林庸子・小日向三重子
柴伸子・藤間みゆき
水上絵子・宮本涼子
渡邊大輔

森治美（編集長）
新井利恵子・加藤和子
浜俊子・藤井美里
星詩子

日比康人
横河グラフィックアーツ
株式会社

● 長内レエ（70歳・中町）
専業主婦歴20年、武藏野市民歴4年半、レポーター歴0年。私に何ができるか不安ですが、もっと多くの人に楽しく読んでもらえる「まなこ」作りのお手伝いに、少しでも参加できれば幸いです。

● 尾花雅子（46歳・吉祥寺本町）
専業主婦歴20年、武藏野市民歴4年半、

レポーター歴0年。私に何ができるか不安ですが、もっと多くの人に楽しく読んでもらえる「まなこ」作りのお手伝いに、少しでも参加できれば幸いです。

● 小日向三重子（38歳・吉祥寺北町）
男性だから女性だからではなく、人と

してどう生きていけばより幸せになれるか、皆さんと考えていきたいと思ひます。私自身の「まなこ」を大きく見開いて、いろんなことを見落とさないようにしていただきたいです。

☆ 「まなこ」はその時々の微妙な社会背景に合わせ、男女平等をうたつてました。同じ「働く」でも7年前と4年前そして今号では法も価値観も違う。どれもい！

☆ 祝！「まなこ」に参加。でも私は独身者。活動のためには他にも仕事をこなさねば。早く、早くオランダ型ワークシエアリングの導入を！切望しているのは私だけ？（新井利恵子）

● 小林庸子（70歳・境南町）
徐々に広く知られるようになった「まなこ」。女性が意識・教養面で少しでもせて検討したり分析したりしてより良い情報を提供したいと思っております。

☆ 朝暮が子ども達の間で、ブームになっているらしい。学生時代からずつとはまっている知人は、うれしそうだ。当時「若いのに、朝暮？」と言つた私。反省。

☆ 「まなこ」はその時々の微妙な社会背景に合わせ、男女平等をうたつてました。同じ「働く」でも7年前と4年前そして今号では法も価値

観も違う。どれもい！（浜俊子）

☆ 音楽ボランティア大塚さんは毎日数時間のレッスンを欠かさない真摯な方。歌が心を語る言葉となり聞き手を共鳴させる。「まなこ」取材での出会いに感謝。（藤井美里）

☆ 初めての取材に冷や汗たらたら。原稿を書いては四苦八苦。そしてやつと生まれたの「まなこ」。きっと、私の宝物になるんだろうな。（星詩子）

☆ 「身体にだけは気をつけて」と言われ続けた編集作業でしたが、20代から80代まで総勢25名の素敵なスタッフと分かち合つて、「まなこ」が完成しました。

☆ デザインは引き続き、新進気鋭の日比康人が担当します。彼の描く楽器で、どんなハモ二を奏でましょうか？（森治美）

編集後記

2002年7月15日発行 〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28 TEL 0422-60-1869(ダイヤル・イン)